

資料提供

平成29年12月19日

課名：医工連携推進プロジェクト・チーム

担当者：井上，岡本

内線：3351

直通電話：082-513-3351

医療関連産業クラスター形成事業による県内企業の 事業化案件について

広島県では、「医療関連産業」を重点産業に位置付け、ものづくり力の強みを活かした医療・福祉分野における新たな産業の育成に、県をあげて取り組んでいます。

この度、「ひろしま医療関連産業研究会」会員企業の有限会社 MIZOU PROJECT JAPAN が、**県の医療関連産業クラスター形成事業などの支援により**、医療機器製造販売業許可を取得し、自社で開発した医療機器（小型超音波画像診断装置：エコー）の製造販売を開始します。

このような新規参入事例は県の取組開始後6例目となります。

なお、同製品は、エコーとして333グラムという軽さを実現し、利便性と経済性を兼ね備えたエコーであり、また、シャープ株式会社製スマートフォン（以下スマホ）を使用しており、県内企業が連携して完成した製品という特徴を持ちます。

次のとおり知事表敬訪問及び記者発表会も行われますので、ぜひご参加ください。

1 事業化の概要

有限会社 MIZOU PROJECT JAPAN は、開発型ベンチャー企業として平成15年9月に設立されました。平成19年から医療機器開発に取り組み、県の「ひろしまヘルスケア実証フィールド※」の活用や公益財団法人ひろしま産業振興機構の支援等により、「小型超音波画像診断装置（エコー）」の製品化を実現されたものです。並行して、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく医療機器製造販売業の許可を取得されており、当該エコーは、平成30年1月から販売します。

（1）携帯性に優れた軽量エコー

独自の技術でプローブ（身体にあてるパーツ）に計測処理機能を収納し、扱いやすい手のひらサイズを実現。白衣のポケットやカバンに簡単に入れて持ち運び可能なエコーです。

（2）医療機器（エコー）の表示器に既製のスマホを採用

プローブの駆動電源をスマホから供給することで、いつでも、どこでも、電源なしで使用可能。表示器には、低消費電力で超音波画像の繊細な濃淡画像を表示できるシャープ(株)の5インチ液晶のスマホが採用されています。

（3）タッチ操作で簡単計測

スマホ画面を見ながら、タッチ操作で2点間計測や容積計測などが可能。マーカーが指で隠れない技術(特許申請中)で、合わせやすく正確に計測位置を特定できます。

（4）利便性と経済性を兼ね備えたエコー

機能を絞り込むことにより低価格を実現し、保険適用できる医療機器としても認定されました。素早く、手軽に使える利便性と経済性を兼ね備えたエコーです。

※ ひろしまヘルスケア実証フィールド

県内外の企業の製品・サービスを、企画・開発段階から、医療・福祉現場、大学等で治験・臨床試験、共同研究、モニタリング評価、意見交換等を行える場

2 会社概要

| 区分 | 有限会社 MIZOU PROJECT JAPAN |
|-----|-------------------------------|
| 所在地 | 広島県府中市高木町 305-1 |
| 資本金 | 300万円 |
| 業種 | 電気計測器製造業 |
| 許認可 | 医療機器製造業、第二種医療機器製造販売業(H29.5取得) |

3 過去の新規参入事例

| No | 企業名 | 製品 | 概要 | |
|----|--------------------------------|--|--|--|
| 1 | (株)コーポレーション パールスター (広島市) | 弾性ストッキング「むくみ対策くつ下」 (H26.6 上市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 下肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減・予防 ○ 歩行時に自然につま先が上がる機能を有し、ソフトな着圧で優れた効果 ○ 県立広島大学 井上誠准教授との共同開発、県立安芸津病院の看護師によるモニタリング評価を重ね製品化 | |
| 2 | RTQM システム(株) (広島市) | リニアック品質管理アプリケーション「QC142」 (H26.7 上市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ がん放射線治療を効果的に行うための革新的品質管理システム ○ どこでも簡単に治療情報を入力・参照できるほか、手入力を極力減らしているため、放射線治療をより安全、効率的に管理することが可能 | |
| 3 | (株)ハマダ (安芸郡府中町) | 人工股関節の手術用具 (H26.10 上市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人工股関節置換術に用いるスターラーラスプ(大腿骨髄腔に、ラスプの打ち込みを行う孔を作成するための器具) ○ 削る部分には、やすり同様、目が切っており、人工股関節の手術で骨の内腔(海綿骨)を削るために使用 | |
| 4 | (株)イノテック (広島市) | 膝関節診断支援システム「KOACAD」 (H27.7 上市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルX線写真(レントゲン写真)から、膝関節診断する上で必要となる骨の各測定値を自動抽出し、診断を支援するシステム ○ 東京大学 岡先生との共同研究開発製品で、変形性膝関節症、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の診断支援として活用可能 | |
| 5 | (株)システムフレンド (広島市) | 関節可動域測定装置「MMV 鑑 Akira」 (H28.2 上市) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 非接触センサーで骨格を自動認識し、関節可動域を測定する装置 ○ 計測データは動画および各関節の3次元座標を保存し、3次元表示により、あらゆる方向からの動作・姿勢の確認が可能 ○ また、選択した関節の角度や長さ、トラッキングによる軌跡等も表示可能 | |

4 知事表敬訪問

(1) 日時：平成29年12月19日(火) 14:10～14:30

(2) 場所：知事室(広島県庁本館2F)

(3) 訪問者：有限会社 MIZOUE PROJECT JAPAN 代表取締役社長 溝上 浩司
 有限会社 MIZOUE PROJECT JAPAN 営業部長 米村 紹芳
 公益財団法人ひろしま産業振興機構 医工連携推進センタープロジェクトマネージャー 石井 裕工

5 記者発表会

(1) 日時：平成29年12月19日(火) 14:40～

(2) 場所：記者会見室(広島県庁本館2F)

(3) 発表者：有限会社 MIZOUE PROJECT JAPAN 代表取締役社長 溝上 浩司
 有限会社 MIZOUE PROJECT JAPAN 営業部長 米村 紹芳
 [同席] 広島県商工労働局医工連携推進プロジェクト・チーム担当課長 井上 太郎
 公益財団法人ひろしま産業振興機構 医工連携推進センタープロジェクトマネージャー 石井 裕工

(4) 内容：小型超音波画像診断装置 製品名：WiZ の概要等説明